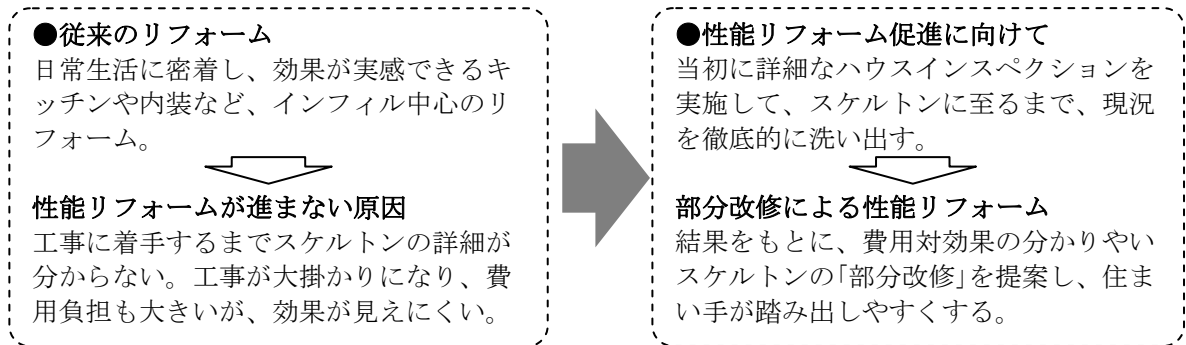


提案名	住まい手参画型「三位一体リフォームシステム」	部門	既存住宅等の改修 (性能向上・改修技術)
提案者	東日本ハウス株式会社	種別	システム提案
構造	木造住宅(在来軸組)	建て方	一戸建て住宅

■提案の基本的考え方

□従来のリフォームの課題と、性能リフォームの促進に向けた対策

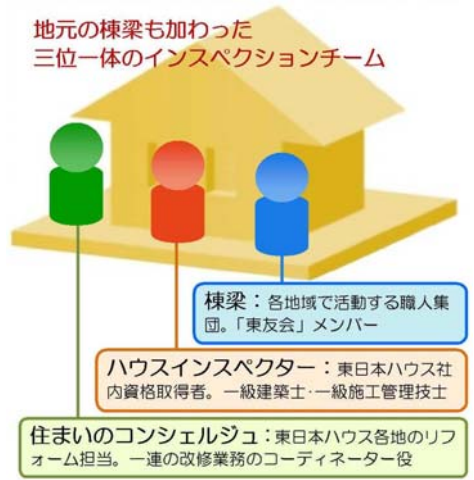


1. 徹底的に現況を洗い出す三位一体のハウスインスペクション

既存住宅を良質なストックに“体質改善”するための基礎資料となるハウスインスペクションを徹底するために、

- ①ハウスインスペクター(住まいの調査・判断のプロ)
- ②住まいのコンシェルジュ(全体のコーディネーター役)
- ③棟梁(家を建てるプロ)

の三位一体のシステムで実施。施工を熟知する棟梁の考察や見解を加味したインスペクションを実施。スケルトン改修に向けた検討課題や、施工の難易度などを早い段階で明らかにし、費用対効果が目に見える改修メニューを提案することで、住まい手が自ら性能リフォームをプロデュースできるような仕組みをつくり出す。



2. 当社の地元・東北から始める改修促進

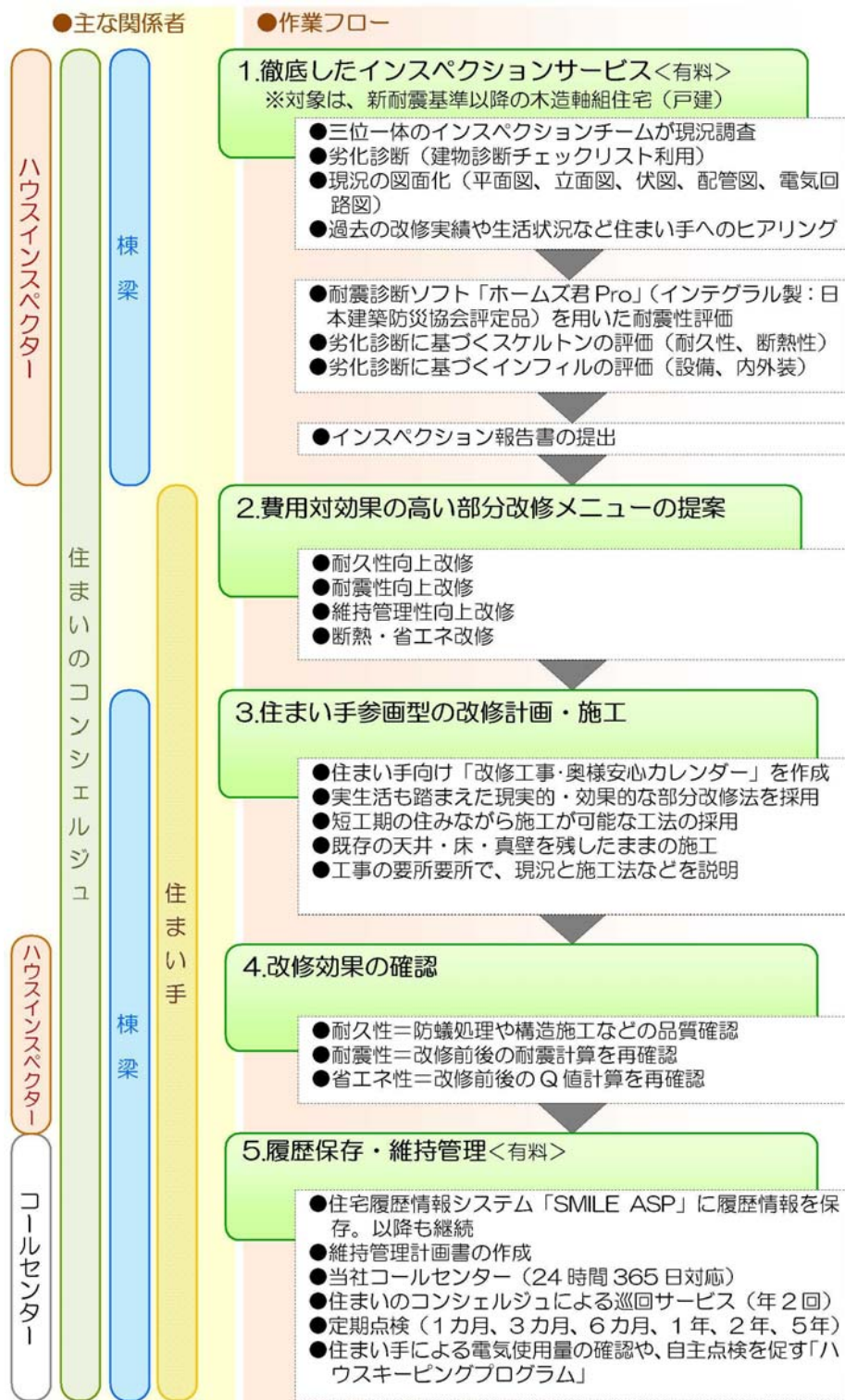
当社は1969年に盛岡市で設立された。東北地方を“地元”とする当社は、今回の東日本大震災後、宮城県から岩手県の沿岸部に5つの出張所を開設し、被災地における既存住宅の改修促進に動き出した。これは、大工をはじめとする地域の職人の雇用確保と、改修スキルの向上を視野に入れたものでもある。

そして、かつて地元で培った家づくりのノウハウを全国展開したように、被災地から着手する改修促進を、全国各地に広げていく予定である。



■主な提案内容

<住まい手参画型「三位一体リフォームシステム」の全体像>



■提案者からのコメント

3者それぞれ専門の視点から徹底的に現況を洗い出すハウスインスペクションにより、費用対効果が高くより実現可能な性能リフォームを提案すると同時に、改修工事から維持管理に至るまで、住まい手が積極的に係わることで、既存改修による長期優良住宅の実現および普及を図る。